ふれあい懇談会会議録(令和元年度 第2回)

団体名 南相馬市私立幼稚園保護者会

開催日 令和元年8月23日(金)

時 間 18時00分~19時45分

場 所 南相馬市役所 東庁舎 2 階第一会議室

参加者 団体関係者10名

市長、こども未来部長、こども家庭課長、こども育成課長、秘書課長、秘書課広報広聴係長、秘書課広報広聴係員

- 1. 開会のあいさつ(青葉幼稚園保護者会会長)
- 2. 代表挨拶(さゆり幼稚園保護者会会長)
- 3. 市長のあいさつ(南相馬市長)
- 4. 懇談会 別紙.ふれあい懇談会発言事項一覧
- 5 . 参加者所感
- 6. 閉会のあいさつ (青葉幼稚園保護者会会長)
- 7 . 閉会

/311	NTの い窓談会発言事項一覧 団体名: 南相馬市私立幼稚園保護者会						
No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項			
1	団体	幼稚園に通う2歳児も在宅保育支援金の対象という説明がありましたが、 その理解でよろしいかったでしょうか。	市	これまで在宅保育支援金に関する考え方が統一できていませんでしたが、今回の話を受けて、支給対象を「常時の保育サービスを受けていない人」という形に統一したいと思います。 幼稚園に通う2歳児も正確には園児ではない(常時の保育サービスは受けていない)ため、支給対象とします。 また、幼稚園に通う2歳児の保育料についても、県の私学法人課の認可外届や、児童福祉法に基づく一般的な認可外届のような届出など「一定の保育の質が確保されている」ことを証明できるものがあることを条件として、無償化を検討します。			
2		幼稚園に通う2歳児は、入園した時は認可外保育として在宅保育支援金の対象となりますが、誕生日を迎え、1号認定を取った場合は、無償化の対象に切り替わるのでしょうか。		年度途中で1号認定を取った場合は、無償化の対象に切り替わる運用を考えています。			
3		市が検討している無償化の条件として「一定の保育の質が確保されている」を満たすため、幼稚園側で認可外などの届け出を出す必要があると思いますが、市から「幼稚園側の事情によっては認可外を出せない園もある」との説明がありました。 届け出を出せないというのはどういうことでしょうか。		が稚園によっては、2歳児の費用を徴収していないところもあり、認可外保育として届出を行うことで、園の経営に影響が出てくる可能性があるためです。 各幼稚園で徴収している費用や背景、教育方針などが異なっていますので、各園でバランスが取れるように、選択肢をお示ししたいと思います。			
4		下記のようなに、各家庭で多種多様なニーズが存在します。 ・子どもを保育園から幼稚園に移したい ・兄弟で同じ幼稚園に通う際に、弟が2歳児だったとしても教育環境としては同じ先生に預けたい 市には、無償化や在宅保育支援金などの制度について、なるべく平等に補助していただき、子育ての支援に繋がる運用をしていただきたい。		現在、保育園と幼稚園の在り方、あるいは公立と民間の在り方、公立で どこまでやるかなどは様々な方の意見を聴きながら方向性を出していただ いているところですので、保護者の皆様の意見を聴きながら、市としての 対応方針を決めていきたいと思います。			
5		現在の無償化制度では、就業の有無や収入などの条件が無く、一律で無償 化の対象としていることについて疑問を抱いています。 この点について市ではどのようにお考えでしょうか。		現在の無償化は、年収に関わらず一律無償とするなど様々な問題があるとは思います。ただ、市の無償化はそうした内容で始まっていますので問題があれば見直していきたいと思います。			
6	団体	在宅保育支援金の制度は、若年世帯に就業して欲しいという考えから出来 た制度と認識しています。 市では、働き手となる若年世帯が少ない現状をどのようにお考えでしょう か。		在宅保育支援金は、若年世帯に就業していただくためではなく、家庭で子育てして欲しいという思いで整備した制度です。 働き手不足に関しては、市外から若い人を呼び込む、あるいはUターンで帰ってくる人の奨学金を免除する、職種によっては外国人研修生を連れてくるなど様々な方策を検討して、解消向けて取り組んで参ります。			

ふれあい懇談会発言事項一覧

団体名:南相馬市私立幼稚園保護者会

13.1						
No.	発言者	発言内容	回答者	回答事項		
7	団体	子どもの誕生月が4月と翌年3月とで補助期間に一年の差が出てくるという問題があります。どのようにお考えでしょうか。	市	園児の定義は国の基準であるため差が出てしまいますが、出来る限り誕生 月などで、世帯毎に不公平が発生しないようにしていきたいと考えていま す。		
8		年度途中に入園させた保護者から「本来入れたい園に空きがなく、こちらの園に入れた」と聞いたことがあります。背景には、保育士や幼稚園教諭などの資格を持った人の確保といった問題があると思います。もし、保育士の確保ができるのであれば、私個人としては市の財源を圧迫するようなことはせず、高所得者は一律無償化の対象にするべきではないと考えています。また、限りある財源の中で、幼稚園で働いている方の環境もしっかりと整えていっていただければと考えておりますが、如何でしょうか。		年度途中の入園については、各幼稚園・保育園で定員に余裕を持てると良いですが、その余裕分を補う財源の確保を検討する必要があります。 高額所得者の無償化の課題と併せて、検討させていただきたいと思います。		
9		在宅保育支援金や無償化については、制度内容の周知徹底が必要だと感じています。幼稚園であればどの段階で補助を受けられるのかなどを説明いただく必要もあるかと思いますが、どのようにお考えでしょうか。		在宅保育支援金については、制度説明について教室を開いたり、何かの申請の際に手続きの話を説明するようにしたいと思います。また、届出については事前のPR・周知に取り組んで参りたいと思います。また、幼稚園の皆さんにご協力をいただき、保護者の方々へ周知いただくことも検討して参ります。		
10		幼稚園としては、新卒の保育士を募集していますが、給与や勤務体系の違いから、私立幼稚園を希望する保育士が少ないという問題があります。こうした問題について、どのようにお考えでしょうか。		自治体によっては、保育士に対する給与の補てん制度などを開始しているところもありますが、市で実施するとなると、全員一斉に補てんできるのかなど良い面ばかりではありません。こうした背景もあり、昨年から県と被災12市町村浜通り地方で、国に対して、保育士確保に向けた補助制度の要望活動を実施していますが、実現には至っていない状況です。少しでも保育士を確保し易くするため、他に良い知恵があれば検討しますので、ご相談ください。		